

# 令和7年度事業報告

## 事業の概要

令和7年度は「会員拡大」並びに「就業機会の確保」を重点事項に掲げて取り組みましたが、年度当初はフリーランス新法による新たな契約方式への対応も考えていた以上に事務処理が煩雑化し、業務のデジタル化に関しても期待していたほどの効果が得られず、会員数は拡大するどころか減少に転じてしまい、受託件数も受託事業、派遣事業ともに前年度対比減となり、課題の多い1年となりました。

特に、会員数に於いては入会説明会への参加者が少なく、新規入会者は前年度と比較して13人減の17人に留まり、入会促進に関する案内の周知や会員の口コミ等による紹介などの方法だけでは、今後の会員増は難しい時期にきているものと感じております。

また、事業実績に関しては、全体的に前年度対比減となりましたが、受注件数の割合に対して会員数が少ないと感じており、希望している会員が少ない職種の依頼があった場合など、後継者の確保、育成に時間を要していることも影響して、スムーズに会員を手配することができないケースもあることから、まずは会員を増やすことを最優先に取り組むことで事業実績増を目指す必要があると考えております。

さらに、安全・適正就業については、全国的にも増えてきている刈払機での草刈りに於ける飛び石による事故は無かったものの、事例件数の多い転落事故が2件発生したことに関しては、今後の安全就業の対策として制限を設けて対応するなどの検討が必要だと改めて感じました。

今年度の反省点を教訓にして、新年度に向けて少しでも好転するよう新たな取り組みも検討しながら、一つひとつ改善していきます。

最後に、1年を通して仙北市をはじめとする関係機関のご指導、ご協力のもと、事業を運営できたことに厚く感謝申し上げます。また、地域の皆さまのご理解により就業機会を確保できたことに対しても厚く御礼申し上げます。令和7年度の実業概要といたします。

以下、令和7年度の実業成果並びに事項ごとの報告をいたします。

## (1) 令和7年度の目標に対する事業成果

	前年度比	(目標値)
会員数	278人(96.5%)	320人
新規入会会員数	17人(56.7%)	45人
受託件数	1,045件(99.2%)	1,200件
就業延人員	18,856人日(93.4%)	25,000人日
契約金額	106,395,124円(99.0%)	110,000,000円
就業率	83.1%(3.7%減)	85%以上

## (2) 契約金額のうち包括的契約に係る実績

項目	令和7年度
包括的契約に係る業務委託料	102,089,637円
会員業務委託料	89,937,076円
センター業務委託料	10,779,112円
材料費等	1,373,449円

### 1. 普及啓発活動の推進

会報シルバー「きたうら」を8月に全戸配布したほか、広域的な就業機会の確保を目的としてリーフレット等を活用しながら、地域に対するPRとして仙北市が発行している広報紙にセンターの案内チラシを折り込んでの全戸配布や発注促進、会員募集の記事を掲載しての普及啓発に努めました。

また、役職員による活動としてスーパーの店舗前にてリーフレット等の配布を実施し、令和6年度不参加となった「仙北市文化祭-角館地区-」に於いては、会員の作品を展示しながら案内チラシなどにより周知したほか、今年度は連合会主催で大仙市を会場に「大曲仙北地区シルバーフェア」が開催されましたので、会員の作品展示や障子、網戸の張替えの実演を披露するなど、当センターのPRをいたしました。

その他、ホームページを定期的に更新しながら当センターの情報を発信しておりますが、令和7年度のアクセス数は12,938件となりまして、昨年度より2,603件多いアクセス数となりました。

### 2. 新規就業開拓と会員の加入促進

新規就業開拓のテーマである“会員一人一開拓”を掲げて、新規就業先の開拓を推進いたしまして、令和7年度は8人の会員より16件の受注をいただきました。

また、会員の加入促進につきましては“会員一人がひとりを紹介”を合言葉に会員の口コミ等による入会促進を実施いたしまして、2人の会員より紹介いただき、新規に2人の方々が入会いたしました。

更に、2月を除き月1回の入会説明会を開催したほか、ハローワークの協力による相談窓口には4人の相談者がありましたが、入会には至りませんでした。

### 3. ボランティア活動の実施

令和7年度は角館地区のみでの開催とし、「仙北市立角館町平福記念美術館」の協力を得て、10月23日に美術館庭園内の落ち葉清掃を計画いたしました。作業日の数日前から施設近隣の宅地に熊が居座り、当日までの熊の動向により実施可否を判断することにしていましたところ、依然として熊が居座っていた為、中止となりました。

当日は8名の会員に集まっていたいただきましたが、時季的にも改めて企画することができず、大変残念な結果となりました。

### 4. 安全・適正就業の推進

日頃から安全・適正就業に対する意識付けを図り、就業中及び就業途上における事故の未然防止と会員に安全で適正な就業を推進する為、安全・適正就業委員会を年3回開催いたしました。

また、委員による就業現場パトロールでは就業現場13か所を巡回いたしまして、事務局職員によるパトロールとして年間529か所を巡回したほか、安全だよりを8月と11月の年2回発行いたしまして、安全対策の徹底と事故防止の周知に努めたところであります。

結果、物損事故は無かったものの傷害事故が4件発生いたしまして、年度末時点では当該会員全員が復帰しておりますが、無事故日数を継続できるよう周知徹底していきたいと思います。

事故発生日	性別	年齢	事故内容	通院/入院
5月29日	男性	75歳	伐採作業中にチェーンソーで左手首を切った	通院4日
8月28日	男性	78歳	草刈り(機械刈り)作業中に右手の甲と胸を蜂に刺された	通院1日
10月22日	男性	78歳	剪定作業で梯子を固定しようとして足を滑らせ梯子から転落	通院6日
11月27日	男性	76歳	冬囲い作業中に長木を固定しようとして脚立より転落	入院24日 通院3日

### 5. 各種講習会の開催及び就業体験(職場見学)の実施

令和6年度に続き、令和7年度も県シ連主催の高齢者活躍人材確保育成事業による仙北市開催の技能講習はありませんでしたが、昨年度と同様に、会員と一般市民を対象に後継者育成を目的とした講習会として「網戸張替え実務講習」を企画、周知したものの参加者がおらず、残念ながら開催できませんでした。

他に、より多くの会員より Smile to Smile サービスを活用していただきたく、初期設定から操作機能に関する講習会を開催し、7名の会員から参加いただきました。

また、高齢者活躍人材確保育成事業に於ける就業体験(職場見学)の活用を推進いたしまして、令和7年度は4名の方々が参加し、全員入会していただきました。

## 6. 有料職業紹介事業の推進

職業安定法の特例に基づき実施可能な事業ではありますが、有料職業紹介事業を活用するべく求人や求職がなかった為、職業紹介事業での対応はありませんでした。

## 7. シルバー派遣事業の実施

令和7年度も高年齢者が適正に就業する為の選択肢のひとつとして、雇用関係と判断される内容の依頼などに対して派遣という形で対応いたしました。

実績といたしましては22件の派遣先と36件の契約を取り交わし、65人の会員を派遣いたしまして、契約金額は27,794,449円で前年度対比増となりました。

	令和7年度	令和6年度	増減
受注件数	36件	38件	-2件
派遣会員数	65人	58人	+7人
就業延人員	5,318人日	4,802人日	+516人日
契約金額	27,794,449円	25,487,764円	+2,306,685円

## 8. デジタル化の推進

会員とのコミュニケーションツールとして、会員専用サイト「Smile to Smile サービス」の活用を推進いたしまして、令和7年度に登録していただいた会員は42名となりました。

また、ホームページにて、「Web受注」、「Web入会」の申込みに対応いたしましたが、「Web受注」では8件の依頼申込みがありましたが、「Web入会」での入会申込みはありませんでした。

## 9. 財政基盤の強化及び健全化

令和7年度は市の補助金を増額していただき、令和6年度の事務所移転に伴う財政難を解消するべく努力いたしましたが、フリーランス新法による包括的契約に係る経費が増え、新規入会者の減少や受託件数の減少などが事業実績に影響したことも重なり、財政的にも厳しい1年となりました。

新年度に向けて、引き続き経費削減に努めながら、健全で効率的な事業運営を推進いたしますが、事業の運営状況によっては事務比率を変更することも検討して、安定した財政基盤の構築、強化を図ってまいります。